

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり		
施策	①地域安全対策の推進			
(施策の小項目)	○安全なまちづくりの推進			
主な取組	安全なまちづくり推進事業	実施計画 記載頁	131	
対応する 主な課題	○沖縄県は海域を含めると広大な行政区域を持っている上、人口や入域観光客数の増加、米軍基地から派生する諸問題等の特殊事情を抱えている。また、警察官1人あたりの110番件数が全国で最も多い。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	犯罪のない、安全で安心して暮らせる沖縄県の実現を目指して、「ちゅらさん運動」の浸透・定着と、県内各地で取り組まれている自主防犯活動を拡大、活発化させるために、犯罪情勢等の情報提供や必要な支援を積極的に行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	「ちゅらさん運動」の浸透・定着					→	県
	自主防犯ボランティア団体への支援						
犯罪防止に配慮した環境設計の促進(防犯カメラの設置促進等)							
担当部課	警察本部 生活安全部生活安全企画課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
生活安全活動事業	3,067	2,913	「ちゅらさん運動」の普及・促進を図り犯罪のない沖縄県の実現を目指し、防犯ボランティアの支援として防犯情報の発信及び防犯物品(防犯ベスト・帽子各250着、青色回転灯40個)の支援を行った。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	刑法犯認知件数が、前年と比較して1,381件、率にして14.6%減少し、戦後最少の記録を大きく更新しているほか、防犯ボランティア団体も700団体台を維持している。また、公共空間における防犯カメラ設置台数も前年と比較して31か所、344台増加した。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
生活安全活動事業	2,907	「ちゅらさん運動」の普及促進 自主防犯ボランティアの活性化に向けた支援 公共空間における防犯カメラ設置拡充の働き掛け	県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①業界団体、県、県教育庁と連携し、店舗対策、駐輪場の整備、児童生徒をはじめとした県民の「規範意識の向上」を図ることで「オートバイ盗」、「自転車盗」、「万引き」の抑止を図る。	①関係機関や防犯ボランティアに対して防犯情報等を共有するなどして連携し、県民の規範意識の向上に取り組んだ結果、「オートバイ盗」、「自転車盗」、「万引き」が前年と比較して減少した。
②地域に密着した自治会や青年会に対し、ちゅらさん運動に基づいた「できるときにできる活動」について提案し、自主防犯ボランティア活動への参画を推進する。	②自治会を通じて若い世代の青年会を取り込んだことにより、地域の行事や活動と「ちゅらさん運動」を連動させ、防犯活動への参画を図った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
刑法犯認知件数	12,403件 (23年)	8,082件 (28年)	11,000件 以下	4,321件	996,120件 (28年)
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	平成28年度の刑法犯認知件数は8,082件となり、平成28年度目標値11,000件以下を達成している。引き続き、「ちゅらさん運動」の普及促進、自主防犯ボランティアの活性化に向けた支援など各種取組を推進することで、犯罪の未然防止を図り、安全・安心なまちづくりの実現を目指す。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <p>・「ちゅらさん運動」及びこれに大きく貢献している防犯ボランティアの支援に係る予算は年々減少しているため、予算に頼らない推進方策が必要である。</p> <p>○外部環境の変化</p> <p>・刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、飲酒に絡む事件・事故は跡を絶たず、飲酒に寛容な文化がその要因となっている。</p>

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>・安全で安心な沖縄県を実現するためには、今後とも「ちゅらさん運動」の普及促進と「防犯ボランティア」の活性化が不可欠であることから、今後ともあらゆる関係機関との連携を強化して取り組んでいく必要がある。</p>

4 取組の改善案(Action)

<p>・「ちゅらさん運動」に関する事業については、他の事業と関連する部分も多いことから、県民をはじめとする県内の事業所や自治体と連携し、既存事業に可能な範囲で防犯要素を意識した「プラス防犯」に取り組むとともに、その普及浸透を図ることで、県民全体の防犯意識の向上を図る。</p>
